

令和7年度 大阪府立岸和田支援学校 第3回学校運営協議会報告

【日時】 令和8年2月4日(水) 10:00~11:30

【場所】 本校 1F 地域支援室

【出席】 会長…小田浩伸氏 副会長…神崎俊之氏

委員…清時綾氏、田中由紀氏、津々木かおり氏、亀坂征児氏、

校長…松浪啓介 教頭…丸田公司、平岡洋介 事務長…青木昭之

首席・指導教諭…有山暁雄、井上鉄也、小浦亜由里、川並しのぶ 部主事…福積聡子、岡田香奈子

□ 学校長挨拶

□ 年間テーマに基づく協議

「肢体不自由校における授業のユニバーサルデザインの工夫」について

1,2回目の学校運営協議会で示された肢体不自由校における授業のユニバーサルデザイン(例)をもとに、校内で検討し、見え方への配慮や過度な支援の防止などを追加して12項目に改訂した。この12項目について、各委員から質問や意見が出され、それに答えていく形で協議が進められた。

授業はMT・STが連携するTT体制で行われ、子どものわずかな動きを尊重し、支援しすぎない姿勢も重視されている。TTではそれぞれの役割分担と個々の目標などの事前共有が授業の質を左右し、協議の中では特にSTの動きが重要とされた。

また、タブレット端末や絵本など多様な提示方法を使い、個々に合った学びを保障している。自己選択・自己決定を促す工夫も重要で、個々の実態に合わせて視線・感触・香りなど多様な手がかりを活用している。

施設や家庭でも共通理解を持つことが求められ、ユニバーサルデザインの視点を日常に取り入れる必要性が確認された。今後は項目の整理、細分化や評価方法の検討を進め、肢体不自由校のユニバーサルデザインモデルを確立し、外部に発信していくことが課題となっている。

□ 協議事項

① 令和7年度学校経営計画及び学校評価(案)

⇒校長より令和7年度学校経営計画及び学校評価について説明をした。特に今年度の取り組みの自己評価の部分について、今後の課題や検討が必要な部分について丁寧な説明をした。

② 令和8年度学校経営計画及び学校評価(案)

⇒校長より令和8年度学校経営計画及び学校評価について説明をした。中期的目標の中の「働き方改革」の推進の項目は全ての府立学校の学校経営計画で必ず立てる項目となっている。

・授業力を含む専門性向上の取り組みでは、学校運営協議会でまとめられたユニバーサルデザイン例を活用して授業づくりを行っていく。この例には写真や動画をつけて見える形で示し、地域にも発信できる工夫をしていきたい。

・外部機関への理解や啓発では、特に医療や福祉機関に見てもらえるようにホームページを活用して発信していきたい。

- ・安全安心な学校体制再構築の部分では、大規模災害対策や防災フェスを実施しているが、さらに大阪府の学校防災アドバイザー派遣事業を活用し、再度防災計画を見直して取り組んでいきたい。
- ・センター的機能の充実においては、就労支援機関や企業の方に本校の授業の様子を見に来てもらえるように、ハローワークとも協力しながら取り組みたい。また、今年度見直した「肢体不自由のある子どもたちを理解するために」という冊子に動画を加えて、地域支援に活用できるようにしたい。また、人権教育委員会から毎月大切なキーワードを発信し、見える形で人権意識の向上を図りたい。
- ・働き方改革においては、授業研究に集中して取り組める日や時間が少ないと面談で聞くことが多いため、NO 会議DAYとは別に、教材研究DAYを月に1,2回設定し、授業研究に取り組める日を見える化していく。

(意見)働き方改革が各学校で進んでいるが、学校の取り組みを簡素にして、行事等を無くしていくということではなく、前提として支援教育の魅力ややりがいを押さえたうえで進めてほしい。

③ 令和7年度学校教育自己診断考察

⇒首席より令和7年度の学校教育自己診断の結果と分析について説明した。学校経営計画の評価指標項目の関連項目については、該当する部署で分析を行い、来年度に向けての取り組みをまとめた。保護者向けの自己診断は概ね肯定的な回答が得られた。児童生徒向けでは、進路に関する設問について、今年度は小中学部も含めて全校児童生徒を対象としたため、わからないなどの回答が増えている。教職員向けでは、概ね肯定的な回答が集まっている。

④ 保護者からの意見の審議

⇒特になし

⑤ その他、学校運営全般について

(意見)自己診断の児童生徒向けの進路についての設問で、「わからない」との回答が多いことについて、将来のことを不安に思っている部分もあるのかなと思った。前向きに考えている人がたくさんいればよいと思う。進路については、日々の授業や取り組みがあるのか教えてほしい。現状、医療的ケアが必要な場合は、将来の暮らしの場を見つけることが難しい部分もあると思う。PTAで進路の学習会や制度のこと、情報共有できる機会を作りたいと思った。

⇒20件の回答で代筆は18件だった。中学部では、卒業後の進路先の話や将来の話を業間等でしていることがある。校内就業体験等も行っているの、折に触れて意識する機会がある。

※ 各協議事項については承認された。

□ 閉会